

日本酒ベンチャーClear 代表取締役 CEO 兼 ブランドオーナー 生駒 龍史 ご紹介資料

SAKE HUNDRED ブランドオーナー 生駒龍史 日本伝統の酒を背負う若き挑戦者

生駒と話をする、誰もが「日本酒の未来」を信じるようになります。生駒は、世界中の誰よりも日本酒の明るい未来を信じ、同時に冷静な目で世界全体を見渡し、日本酒の深い知見とビジネスの視点を持って、情熱を抱き真っ直ぐつき進む人物です。メディアへの露出経験も多く、視聴者の心を掴む話力のあるブランドオーナーです。ぜひ生駒への取材・出演をご検討ください。

■生駒龍史プロフィール



株式会社 Clear 代表取締役 CEO 兼 SAKE HUNDRED ブランドオーナー
生駒 龍史 (いこま りゅうじ)

1986年、東京都生まれ。IT企業などを経て2013年に株式会社 Clear を設立。2014年に日本酒メディア「SAKETIMES」をローンチし、2018年7月に日本酒ブランド「SAKE HUNDRED」を創業。これまでベンチャーキャピタル等から18.3億円の資金調達を実施。事業成長によって日本酒の発展に貢献し続ける。国税庁主催「日本産酒類のブランド戦略検討会」(2019年-2023年)委員を務める。2024年、これまでの功績が認められ日本醸造学会若手の会より醸造文化賞を受賞。

【プロフィール詳細】

- 日本酒に出会う前
 - ✓ 東京都府中市生まれ。日本酒に関わりがない、ごく普通の一般家庭に生まれる。
 - ✓ 大学時代は軽音楽部でドラムを担当。お酒は弱く、無茶な飲み方を繰り返した日本酒には悪いイメージしか持たない。
 - ✓ 新卒で入った会社をパワハラで2ヶ月で辞める。凄まじい挫折を経験。
 - ✓ 並行輸入品をECで販売。アルバイトを3つ掛け持つ極貧生活のどん底。
- 日本酒との出会い
 - ✓ **2011年、25歳**。酒屋の友人から紹介された日本酒『香露』の美味しさに衝撃を受け、友人と日本酒事業を興す。
 - ✓ 当時は珍しいサブスクで「SAKE LIFE」を始める。取材依頼も多く生駒にとって日本酒は「可能性と成長の象徴」に。
 - ✓ 友人と事業方針に齟齬が生まれ、SAKE LIFE を譲渡。
- 2013年、Clear を設立
- 2014年、日本酒専門Webメディア「SAKETIMES」を創業
 - ✓ 旧態依然の業界で新参者の生駒。ベンチャー=怪しいというレッテルを貼られた苦しい時代(門前払い、自転車操業)
 - ✓ 初めての売上は菊水酒造。記事広告のマネタイズプランを確立し八海醸造、菊正宗酒造、月桂冠、銀盤酒造、飯沼本家…とクライアントを獲得
 - ✓ 日本酒コンペティションの審査員も務める
 - ✓ **2017年、香港・アメリカ・台湾での取材で、海外も視野に入れた高価格市場の可能性を感じる**
 - ✓ 2017年、SAKE HUNDRED の事業を構想。同時に上場を目指すことを決意
- 2018年、SAKE HUNDRED を創業
 - ✓ 小売免許を持つ川勇商店を買収
 - ✓ 2019年、初めての国際品評会で金賞を受賞。以来、毎年受賞
 - ✓ 2021年、創業からわずか3年で、年商20億円を達成。経済的な成功を収める
 - ✓ **2022年、銀座一等地3階におよぶフラッグシップストア出店を、直前に白紙に戻し、経営者人生10年最大の挫折**
- 2024年、これまでの功績が認められ、醸造文化賞を受賞



— なぜ日本酒で世界に挑戦しているのか？

シンプルに日本酒が好きなんです。 学生時代は日本酒が苦手でしたが、25歳のときに友人からすすめられて飲んだ『香露』という日本酒が美味しくて人生が変わりました。俺には日本酒しかない！人生を賭けるんだ！という覚悟が最初からあったわけではなく、唯一、これはいいとおもえたものが日本酒だったんです。そこから、**日本酒に関わるビジネスをするうちに、覚悟はミルフィユ状に盤石化していきました。**



— なぜ高価格帯なのか？

香港で四合瓶の純米大吟醸酒が40万円で販売されているのを見て、こんな世界があるのかと衝撃を受けました。日本酒の出荷量は1973年をピークに右肩下がり。**市場規模が4分の1になったなら、4倍の価格でも購入される価値をつくるのがメーカーの責任です。** 市場規模4,100億円の日本酒市場をターゲットにするのではなく、200兆円のグローバルラグジュアリー市場を狙おうと考えたんです。ワインの市場規模が大きいのは、種類の横幅と、100万円を超えるものまである価格の高さもあるからです。日本酒はこんなに種類があるのに高さが低い。**僕らが100万円、200万円の酒を当たり前前に売れるようになれば、2万円、3万円の酒はもっと当たり前前に売れるはずですよ。**

— 原動力は？

僕らがコケたら、ほらなって言う人もいるでしょうが、**SAKE HUNDREDでダメなら、もう日本酒はダメなんだなって思う人もきっといます。** イヤなことを言われることもありますけれど、起業って業を起こすって書く。だから業を背負う。僕は辛いことに正当性を感じるんです。**世界を変えるときに無傷で済むわけがない。日本酒業界に僕に期待してくださる方がいて、業界を背負わせていただけるなら、喜んで背負わせていただきます。**

— 未来をどう変えていきたいか？

SAKE HUNDREDの歩みを始めてから、見える景色は大きく変わりました。創業当時は高価格帯の日本酒は“飛び道具”扱いで、新しい市場としては確立しないだろうと評価されていました。しかしSAKE HUNDREDを創業して5年。追随する日本酒メーカーも現れ、僕らが与えた影響は決して小さくなく感じています。今後も、日本酒が当たり前前に世界中の人々の選択肢にあがる社会をつくっていきます。「日本酒の未来をつくる」がClearのビジョンです。自社の利益だけを追うのではなく、産業全体のサステナブルな成長の起点にしていきます。**僕は自社の売上を10倍にする人よりも市場規模を10倍にする人の方がカッコいいとおもっています。僕はそうなりたいし、Clearはそういう会社でありたい。**



■SAKE HUNDRED 受賞実績

	百光 BYAKKO	百光 別醸 BYAKKO BESPOKE	天彩 AMAIRO	思濃 SHIRIN	天雨 TEN'U	白奏 HAKUSO	深星 SHINSEI	現外 GENGAI
IWC (英)								
Kura Master (仏)								
U.S. National Sake Appraisal (米)								
Oriental Sake Award (香港)								
Singapore Sake Challenge (シンガポール)								

問い合わせ・詳細

会社名：株式会社 Clear (<https://clear-inc.net>)
所在地：東京都渋谷区渋谷 2 丁目 4-3 JP 渋谷 4 階
担当：SAKE HUNDRED 広報 古川 理恵
Mail：info@clear-inc.net
Tel：070-1415-4998
詳細情報：<https://bit.ly/sakehundred-media>

